

令和8年7月28日

分任契約担当官
陸上自衛隊小郡駐屯地
第361会計隊長 瀬川 清明

第361会計隊におけるオープンカウンター方式による見積り依頼について

- 1 本リストは、オープンカウンター方式実施要項に基づく手続きが必要です。
- 2 本方式は、随意契約を前提とした見積依頼であり、有効な見積書をもって申し込みをした者のうち、予定価格の制限の範囲内で最低の価格の見積書をもって申し込みをした者を契約の相手方とします。
- 3 件名リスト

一連 番号	件 名	納入（履行） 場所	納期 （履行期限）	見積依頼書 公表日	見積書 提出期限	見積合わせの 日時	防衛省競争 参加資格	備 考
11	137号建物地下燃料タンク清掃	小郡駐屯地	9.2.26	8.7.28	8.8.5	8.8.5 1100		
		以下余白						

4 仕様書の交付場所、契約条項等を示す場所、問合せ先及び提出先
〒838-0141
福岡県小郡市小郡2277
陸上自衛隊小郡駐屯地第361会計隊 担当：轟
0942-72-3161（内線347）

見 積 依 頼 書

分任契約担当官
陸上自衛隊小郡駐屯地
第 3 6 1 会計隊長 瀬川 清明

以下のとおり見積を依頼します。

1 見積依頼

契約実施計画番号		調 達 要 求 番 号		物 品 番 号		仕 様 書 番 号	
6S691TS00800		6SRD1AA0134 0001					
品名 または 件名							
1 3 7 号建物地下燃料タンク清掃							
部品番号 または 規格							
仕様書のとおり							
使 用 器 材 名							
数 量	単位	銘 柄	使 用 期 限 等	グ ル ー プ	指定	検査	包装
1.00	ST						
納地または工事場所			引 渡 場 所				
小郡駐業			小郡駐屯地業務隊				
搬 入 場 所			納 期 ま た は 工 期				
電気 村中技官（内線377）			令和9年2月26日（金）				

2 契約条項を示す場所

陸上自衛隊小郡駐屯地 第 3 6 1 会計隊事務室

3 説明会及び提出の日時場所

説明会日時場所：実施しない。

提出日時場所：令和8年8月5日（水）11時00分 会計隊事務室

4 決定方式及び契約方式

決定方式：総品目総額 契約方式：随意契約

5 注意事項

(1) 実施要領について

オープンカウンター方式実施要領による。

(2) オープンカウンター方式件名リストの掲示場所：陸上自衛隊西部方面隊ホームページ(<http://www.mod.go.jp/gsd/f/wae/>)・小郡駐屯地

(3) 契約条項及び入札参加者心得を示す場所：陸上自衛隊小郡駐屯地第 3 6 1 会計隊・西部方面隊ホームページ

(4) 見積決定方式

総額（税抜）により決定する。

(5) 契約書作成の要否

契約書を作成する場合は別途連絡する。

(6) その他

申し込みがあった者については、市場価格の調査を実施しますのでご協力よろしくお願いいたします。

(7) 問い合わせ先

ア 住所等

〒 8 3 8 - 0 1 9 3

福岡県小郡市小郡 2 2 7 7 陸上自衛隊小郡駐屯地

TEL (FAX) : 0 9 4 2 - 7 2 - 3 1 6 1

イ 見積等に関する事

第 3 6 1 会計隊 契約班 担当 轟 (内線 3 4 7) (FAX 3 4 4)

ウ 仕様（規格等）に関する事

小郡駐屯地業務隊 管理科 担当 村中 (内線 3 7 7)

仕 様 書			
件 名	137号建物地下燃料タンク清掃	作成年月日	令和8年7月14日
		所 属	小郡駐屯地業務隊管理科営繕班
		作 成 者	防衛技官 村中 英晴
1 概 要 137号建物地下燃料タンクの清掃			
2 場 所 福岡県小郡市小郡2277 陸上自衛隊小郡駐屯地			
3 施工しない日及び時間帯 (1) 施工しない日 原則、土曜日、日曜日及び祝日。ただし、別に定める場合はこの限りではない。 (2) 施工しない時間帯 原則、平日の午後5時から翌日午前8時15分まで。ただし、別に定める場合はこの限りではない。			
4 一般事項 (1) 本作業は、本仕様書及び関係法令等に基づき実施する。 (2) 作業上、軽微なもので当然必要と思われる事項は、本仕様書に記載なくとも監督官の指示により実施すること。 (3) 写真は、作業前・作業後及び主要な作業段階毎及び監督官の指示する箇所を撮影し、作業用写真帳に整理後、1部提出する。尚、写真データについては、確実に消去するものとする。 (4) 作業中、他の箇所に汚損又は破損等を及ぼした場合は、速やかに監督官に報告するとともに受注者の責任において速やかに現状復旧するものとする。 (5) 作業中の安全管理には十分留意し、事故等が発生しないよう万全を期す。 (6) 本仕様書及び作業に際し疑義を生じた場合は、監督官と協議した後、実施する。 (7) 作業実施日時は、事前に監督官と打ち合わせするものとする。 (8) 官側の電気及び用水の使用は原則禁止とする。 (9) 監督官の指示する書類を速やかに提出すること。また、補修及び部品取替等で有償となる場合は、別途見積書を提出するものとする。			
			1 / 6

5 特記事項

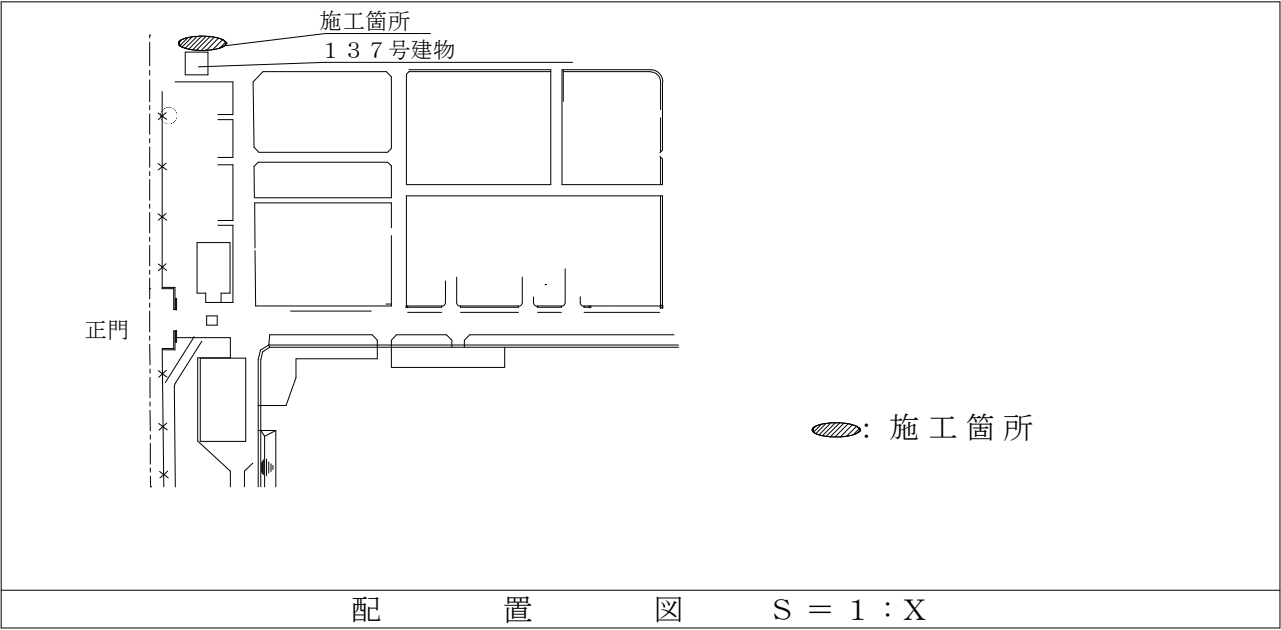
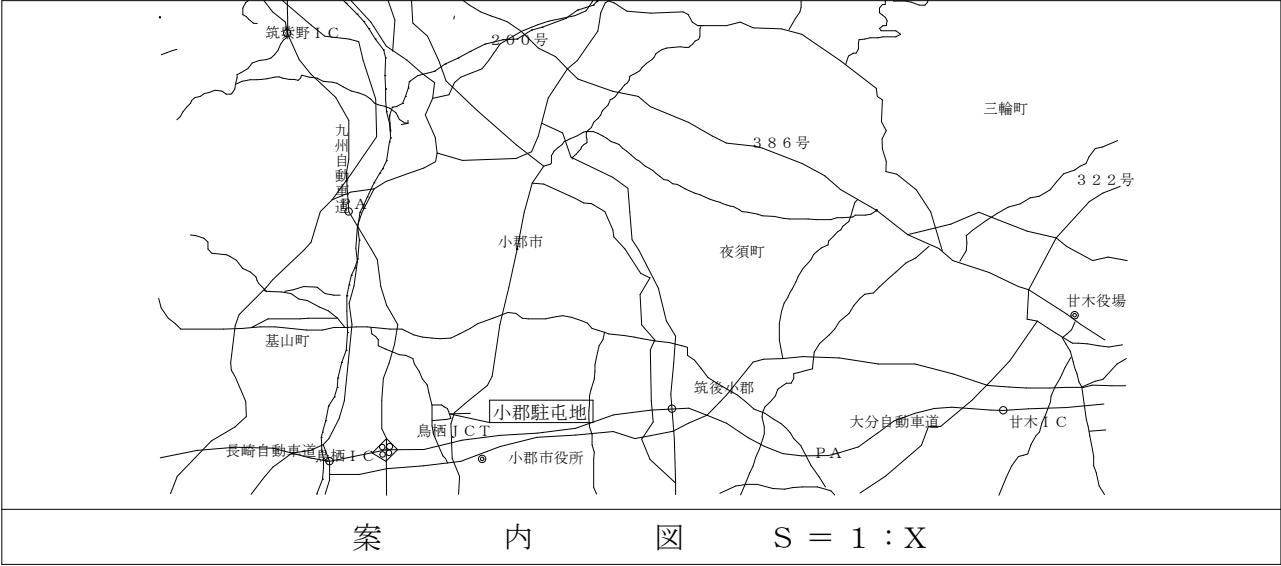
(1) 作業場所等は下表のとおり。

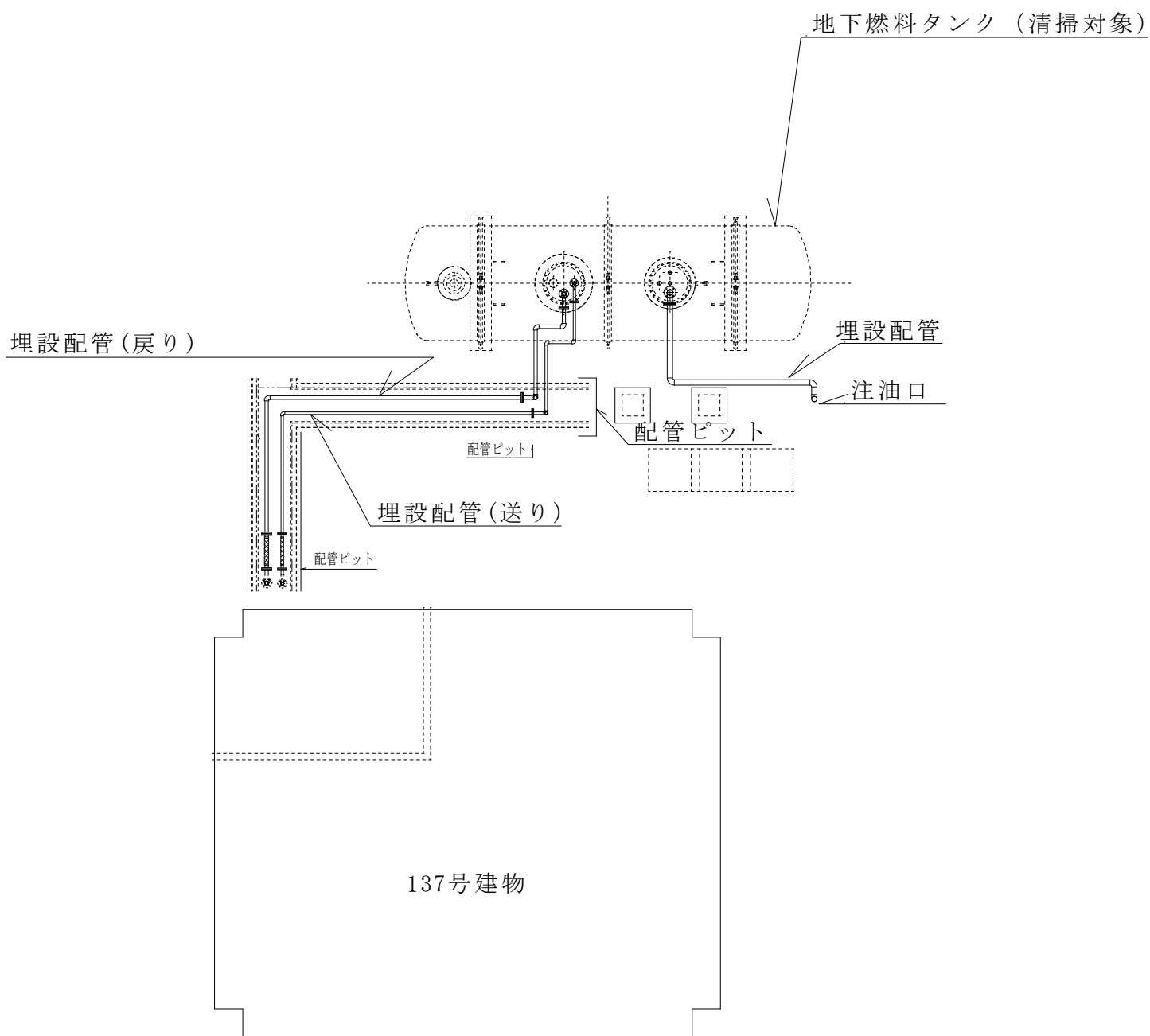
場所	燃料種別	容量	貯蔵形式	備 考
1 3 7 号建物横	軽油	10KL	地下タンク	以下参照 ・ 1 3 7 号建物周辺配置図 ・ 地下燃料タンク埋設図 1 ・ 地下燃料タンク埋設図 2

(2) 燃料タンク仕様等は下表のとおり。

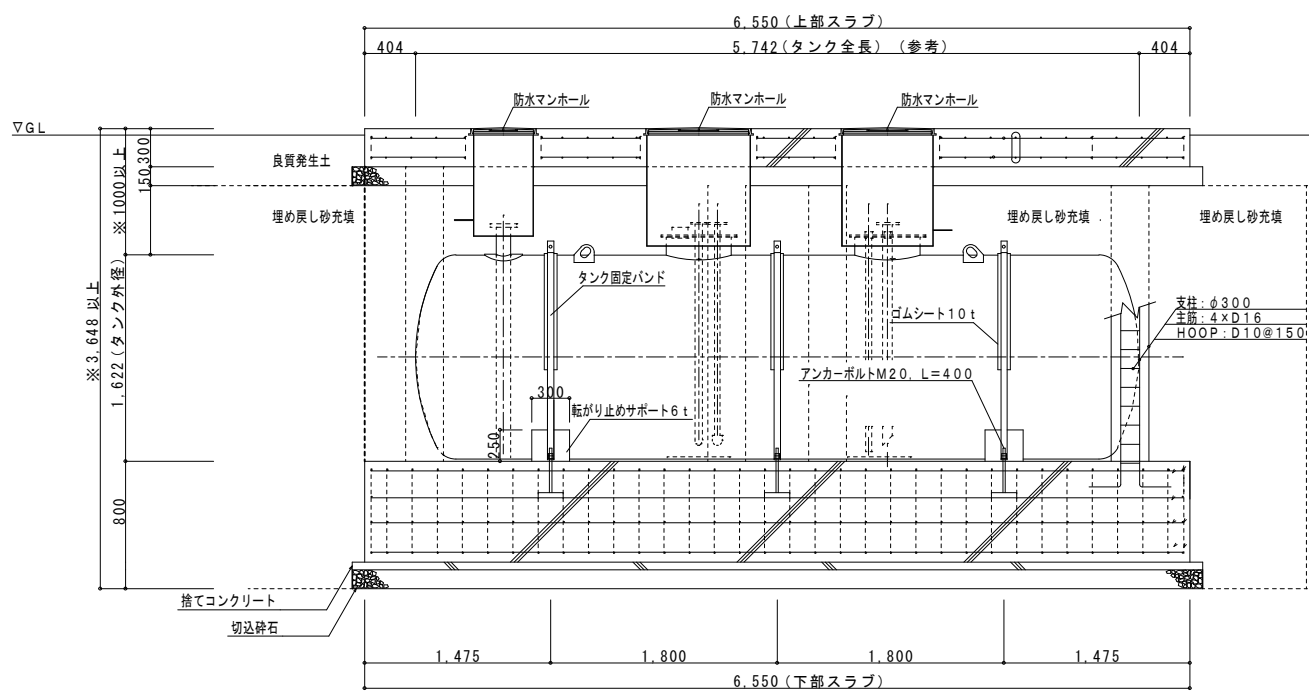
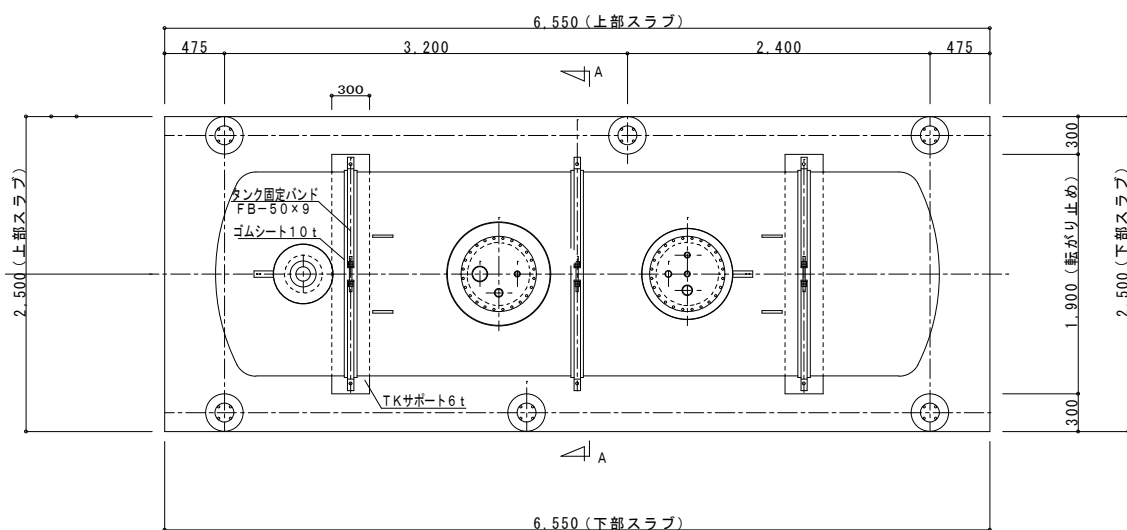
形 状	(タマダ株式会社) 鋼製強化プラスチック製二重殻タンク
寸法・容量	10KL・1,600φ×5,746L
燃 種	軽油
材 質	外部仕上げ：錆止め塗装、FRP吹付(2mm以上)
	内部仕上げ：鋼製強化プラスチック製
板 厚	屋根板、側板、底板 9mm
通 気 管	32A×1
液量表示装置	フロート式
残 油 量	8.1KL

- (3) マンホール開放後、換気ファン等で十分に換気を行い、必ず内部の安全確認後立ち入るものとする。
- (4) タンク内部清掃は、ウエス等により付着物を拭き落とすものとする。
- (5) 残油は、タンクローリー等に一時保管し、清掃完了後タンクに返油するものとする。
- (6) 本作業により生じたスラッジ等は、産業廃棄物処理とし、産業廃棄物管理票（マニフェスト）E票の写しを提出するものとする。

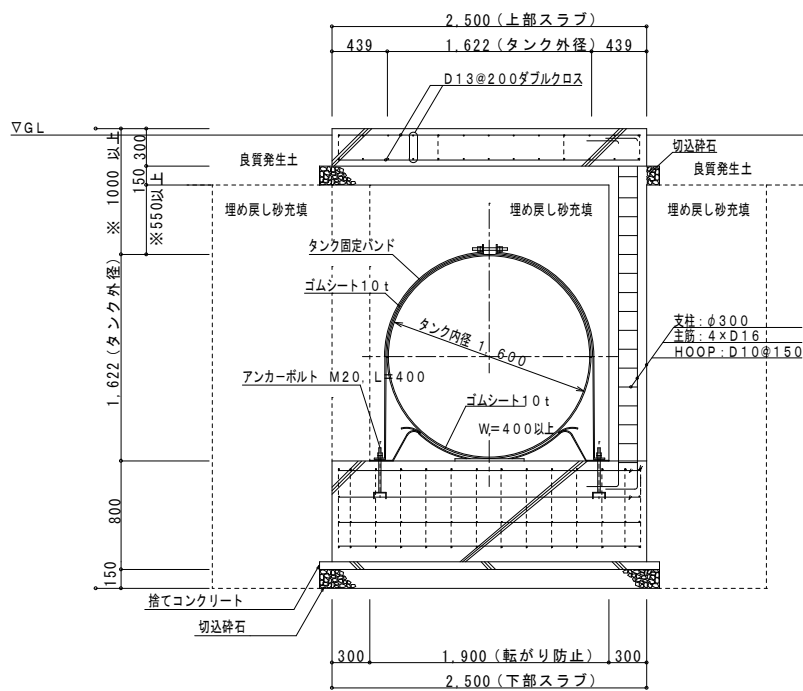
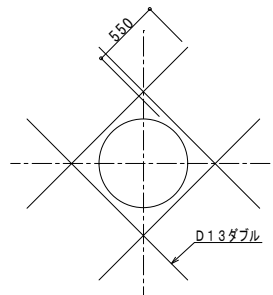




1 3 7 号建物周辺配置図



地下燃料タンク埋設図 1



地下燃料タンク埋設図 2